

HP 『海軍砲術学校』公開資料

# 海上実習必携

海上自衛隊幹部候補生学校

<http://navgunschl.sakura.ne.jp/>

# HP『海軍砲術学校』公開資料

## 目 次

第 1	海上実習の心がまえ	1
1.	一般的心がまえ	1
2.	艦上マナー及びエチケット	1
3.	勤務上の一般注意事項	3
4.	保安上の注意事項	3
5.	物品の取扱い	4
6.	保健衛生	4
7.	実習用携行物件（個人）	4
第 2	礼式及び旗章	5
1.	礼式	5
2.	旗章	7
第 3	艦内編成及び部署	11
1.	戦闘編成	11
2.	科の編成	11
3.	分隊の編成	11
4.	諸係士官	12
5.	諸役員	13
6.	部署	15
7.	代表的な部署	18
第 4	日課週課	25
1.	日課の施行	25
2.	日課の区分	25
3.	日課の例（乙日課）	26
第 5	当直勤務	29
1.	当直（副直）士官としての心がまえ	29
2.	勤務に必要な関係法規、令達	31
3.	当直員の編成と任務	32
4.	当直士官勤務	41
第 6	地文航法	59
1.	基礎的事項	59
2.	航路標識	64
3.	水路図誌	75

# H P 『海軍砲術学校』公開資料

4.	沿岸航法	78
5.	参考事項	82
第7	天文航法	85
1.	索星法	85
2.	天体正中時	91
3.	位置の線の決定	91
4.	位置の線の転位法	96
5.	運動盤を利用した天測位置の記入法	99
6.	誤差三角形の処理	100
7.	日出没時を求める法	102
8.	月出没時を求める法	103
9.	径線儀及び甲板時計の整合法	103
第8	航海計器	105
1.	方位鏡	105
2.	磁気コンパス	106
3.	測程儀	109
4.	測深儀	112
5.	六分儀	114
6.	電波航法計器	118
第9	海事法規	127
1.	海上衝突予防法	127
2.	特定水域航行令	140
3.	港則法	141
4.	神戸港及び関門港における航法等	147
第10	行船法	149
1.	航海計画	149
2.	航行	159
第11	運用	165
1.	麻索、鋼索の強度	165
2.	滑車及びテークル	167
3.	測鉛法	170
4.	錨泊法の種類	171
5.	錨及び錨鎖要表	172
6.	錨及び錨鎖のは駐力	174
7.	出入港一般要表	175

# H P 『海軍砲術学校』公開資料

8.	操艦要表	176
9.	操舵	179
1 0.	船体保存整備	184
1 1.	えい航	185
1 2.	救命設備	189
1 3.	運用安全守則	191
1 4.	短艇揚卸作業	192
1 5.	洋上補給	195
1 6.	でき者救助法	201
第1 2	気 象	205
1.	天気図	205
2.	観測	209
3.	台風の子察	210
4.	台風圏から遠ざかるための操艦法	213
5.	低気圧と天気予察	213
6.	高気圧と天気予察	213
第1 3	船 務	215
1.	C I Cの機能	215
2.	D R Tの縮尺調定法	215
3.	C I C作図用符号記号表	217
4.	運動艦解法	225
第1 4	編隊運動	231
1.	編隊出港	231
2.	方位投錨	232
3.	搜索回頭	233
4.	略算法	235
第1 5	通 信	237
1.	関係通信規則	237
2.	通信計画	237
3.	艦内通信	238
4.	艦内通信事務	238
第1 6	射 撃	241
1.	砲こう武器要目表	241
2.	射撃指揮装置一覧表	242
3.	砲戦号令	243

# H P 『海軍砲術学校』公開資料

4.	弾火薬の管理	245
5.	小火器の保管	246
6.	訓練射撃	246
第17	対潜	249
1.	対潜武器	249
2.	対潜戦闘号令	250
3.	艦内通信系	256
4.	B. T	256
5.	参考図書	258
第18	機関	259
1.	機関一般	259
2.	蒸気タービン機関	261
3.	内燃機関	273
4.	補助機械	283
5.	軸系	284
6.	管系	284
7.	機関運転上の留意事項	284
8.	機関要務	285
第19	電機	291
1.	機関科(電機の部)実習における着眼点	291
2.	艦艇電気兵装の特質	291
3.	電気兵装計画の基本	291
4.	電気兵装機器の種類	292
5.	艦艇電気装置	294
6.	公式及び取扱法	304
第20	応急	317
1.	応急の目的	317
2.	応急の目的達成の手段	317
3.	事前の準備	317
4.	被害処置	332
5.	損傷の修復	334
6.	復原性能	337
第21	練習船実習	357
1.	船体き装	357

# H P 『海軍砲術学校』公開資料

2.	機関	358
3.	各種とう載量	358
4.	機器	359
5.	運動性能	360
6.	航海中におけるC I Cの作業要領	364
第2 2	練習艦「かとり」実習	367
1.	一般要目	368
2.	兵装要目	368
3.	旋回圏	370
4.	新針路距離	373
5.	惰力係数	373
6.	入港時速力てい減	374
7.	偏位運動	374
8.	ウイリアムソンター	375
9.	かさ形危険界	376
1 0.	見透線	377
1 1.	視達距離	377
1 2.	練習艦「かとり」構造図	379
第2 3	潜水艦実習	381
1.	潜水艦の構造	381
2.	潜航浮上法	382
3.	動力	384
4.	襲撃	385
5.	その他	386
第2 4	掃海実習	389
1.	掃海艇(たかみ型)要目性能	389
2.	実習上の留意事項	389
3.	部署	389
付録 I	海上自衛隊の編成、配置	391
付録 II	海上自衛隊艦艇要目一覧表	394
付録 III	信号法参考	398
付録 IV	海上自衛隊第1体操	410